

不確実な世界情勢のもと KAKKIN 運動の更なる強化を確認

～ 第57回全国代表者会議を開催 ～

平成 29 年 1 月 27 日(金)



KAKKIN は、平成 29 年 1 月 27 日(金)、日産労連うらいふセンター(東京都港区)において、加盟組織と全国の地方組織から 211 名が参加して第 57 回全国代表者会議を開催した。

不確実性を増す世界の政治情勢のもとで KAKKIN 運動の重要性が高まっており、「核兵器廃絶」「被爆者支援」「原子力の平和利用促進」を重点にして平和の建設を目指す運動の更なる強化を確認した。

冒頭、主催者を代表して加藤秀治郎議長が「KAKKIN を取り巻く環境は色々と厳しいところがある。何かが起こればタイミングを失わずに、声明を出すなど内外に向かって発信するようにしている。疎かにせずしっかり取り組む。」と挨拶した。続いて支援組織を代表して松浦 UA ゼンセン会長が、エネルギーと経済・環境を考える会を代表して柳澤代表がそれぞれ挨拶を行い、ご臨席いただきご来賓の方々からもご祝辞をいただいた。

議事は、平成 28 年度主要活動報告・会計報告及び 2016 年海外視察報告、平成 29 年度活動の基調、具体的な取り組み、予算、役員選出が質疑の後満場一致で確認された。最後に新役員を代表して、渡邊啓貴議長代行が「トランプ大統領の就任、イギリスの EU 離脱の混乱やフランス国民戦線の躍進など、その場限りの人気取り政策で責任を取らない・説明責任も果たさない。これが最も危険なことで、まさに不確実性時代の根底にある。このような時に私たちは、新体制で心を引き締めて、責任をもって前に進んで行く。」と挨拶し、全員のガンバロー三唱で終了した。



加藤議長



渡邊議長代行